



筑波大学

7月12日
天皇杯 3回戦
K'sデンキスタジアム
90 min

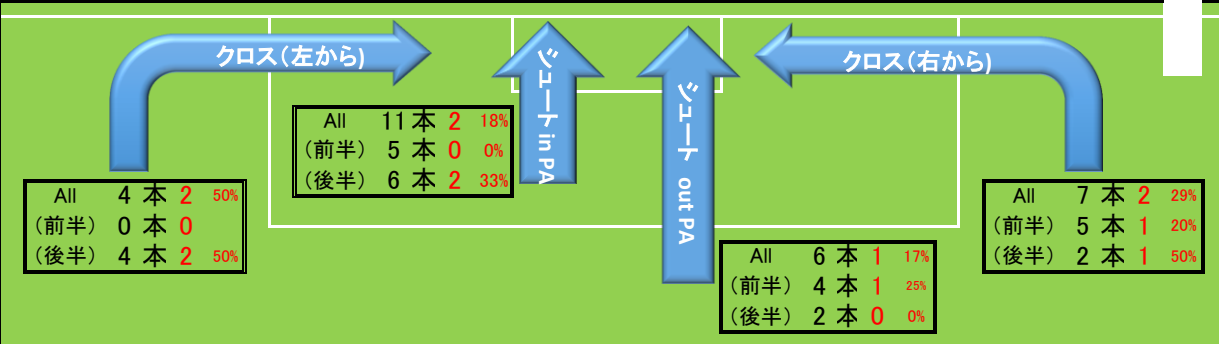
2 0 - 0 1
2 - 1



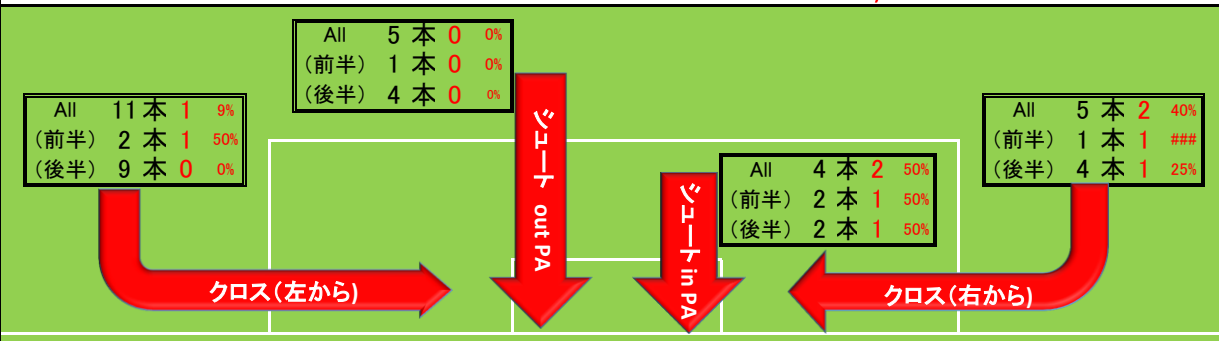
アビスパ福岡

Attack Stats

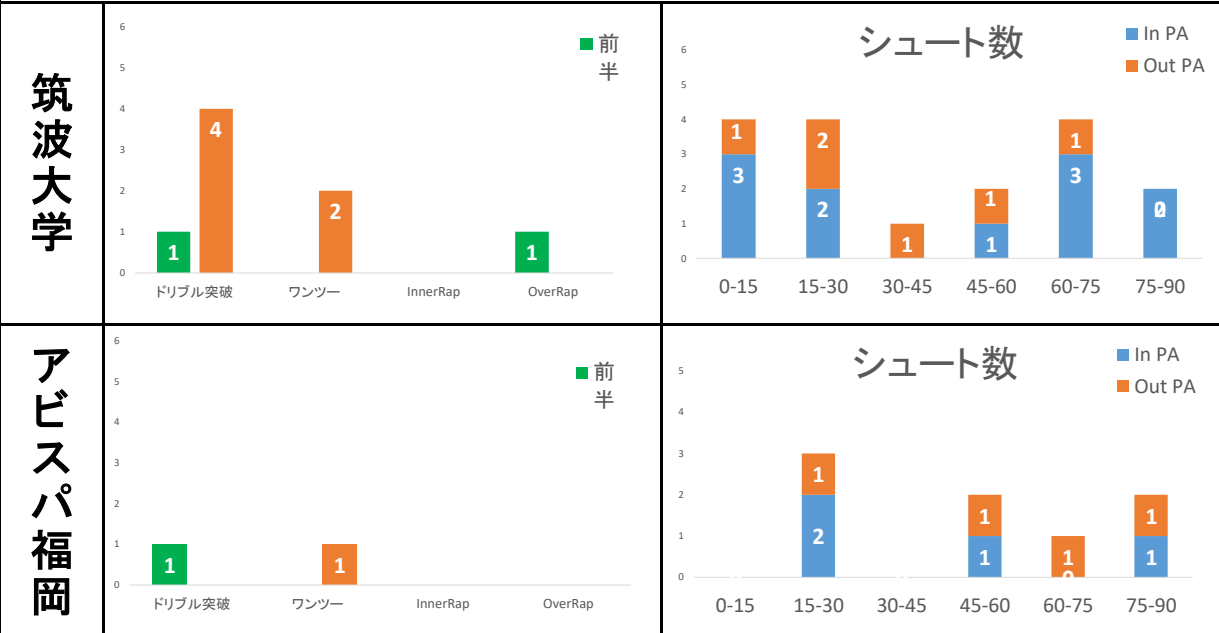
筑波大学 シュート数 17 本 (枠内 3 本 , 18%)



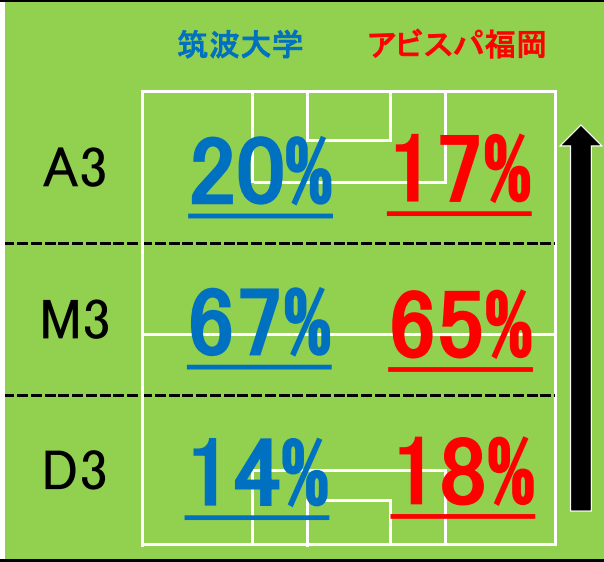
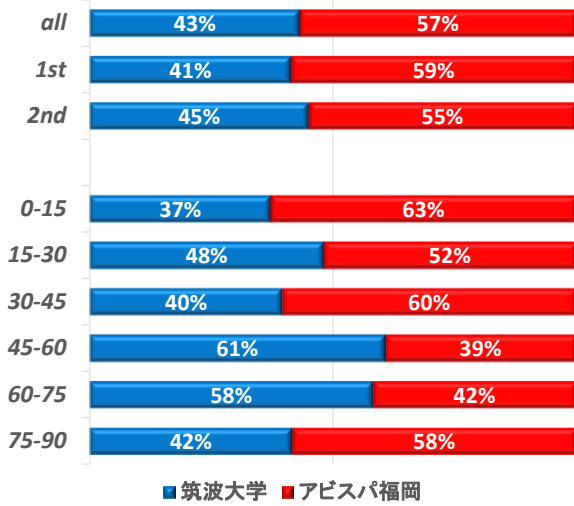
アビスパ福岡 シュート数 9 本 (枠内 2 本 , 22%)



Attack Action

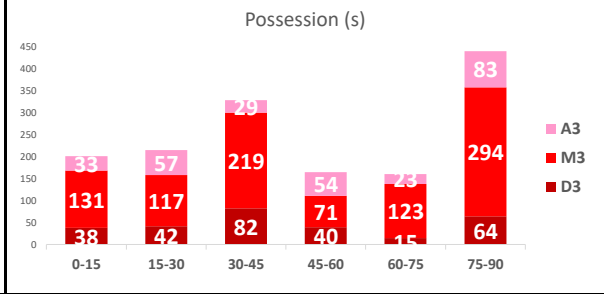
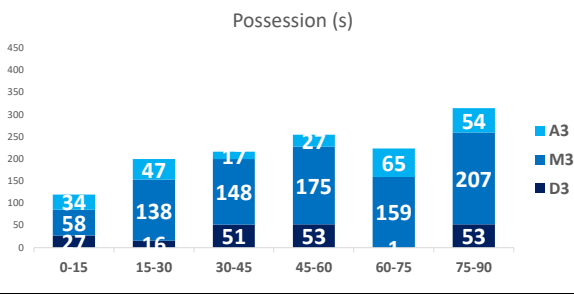


Possession



筑波大学

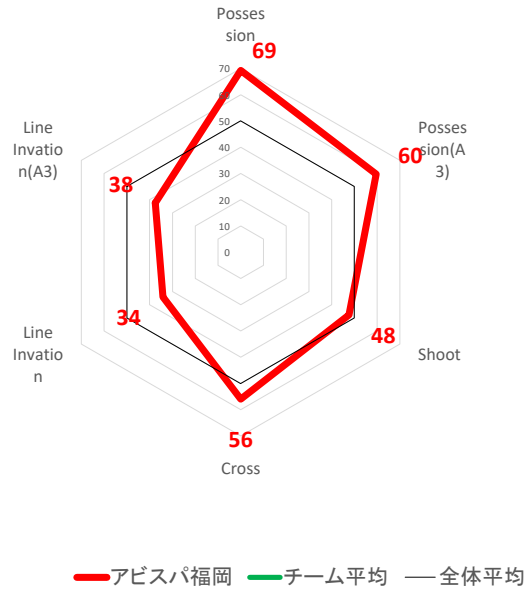
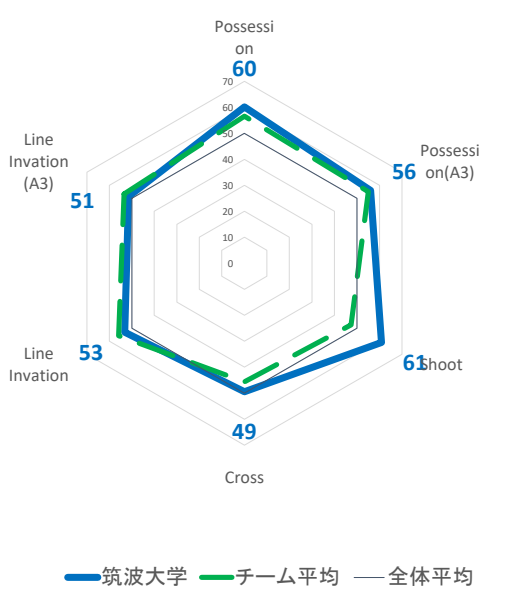
アビスパ福岡



Total (Offence)

筑波大学

アビスパ福岡

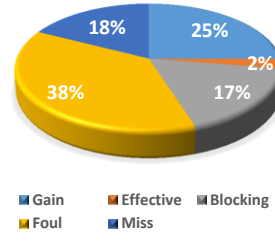
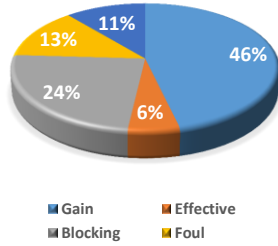
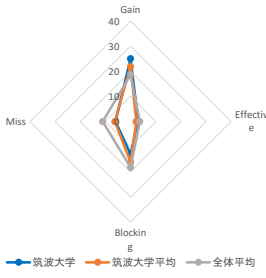


Defence Stats

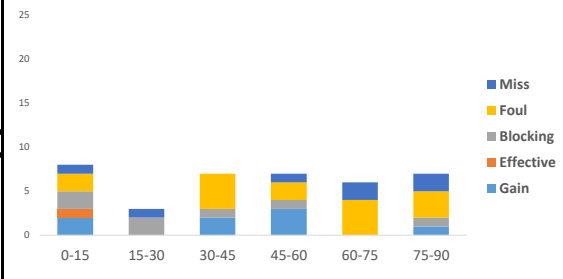
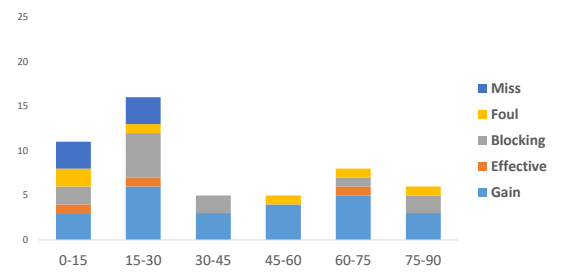
Chance of Ball Gain

筑波大学

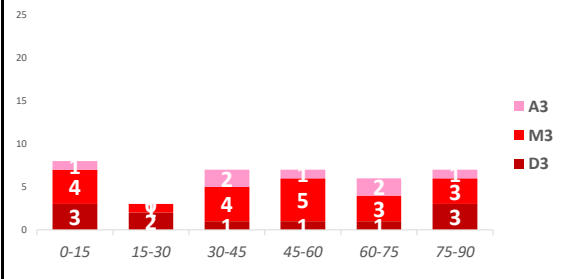
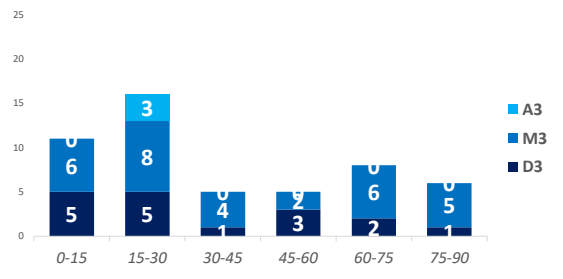
アビスパ福岡



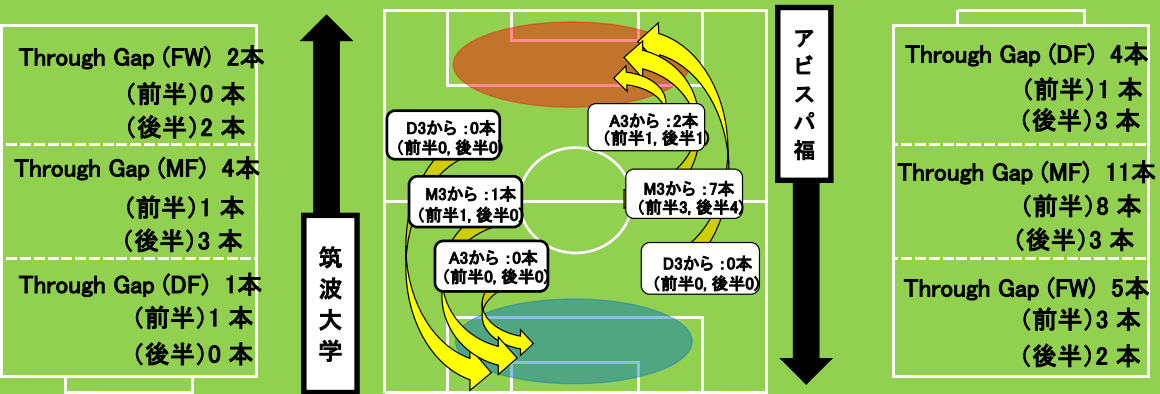
Result



Area

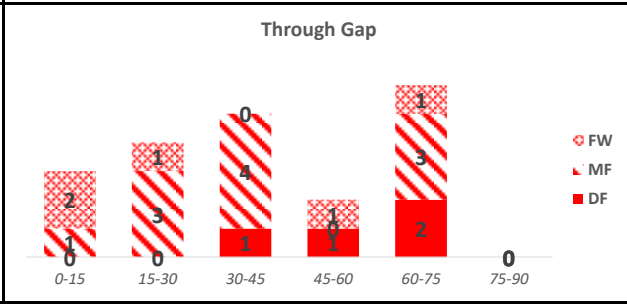
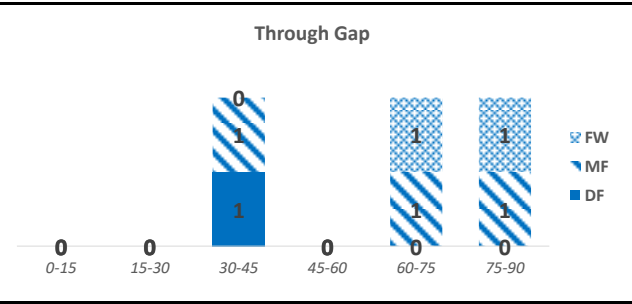


Line Invasion



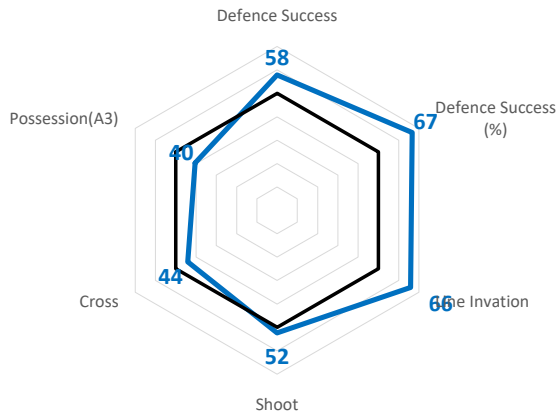
筑波大学

アビスパ福岡



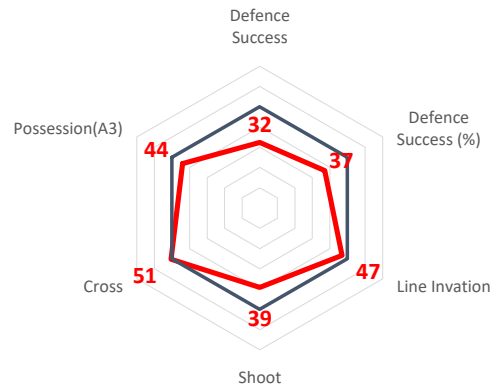
Total (Defence)

筑波大学



— 筑波大学 — 全体平均

アビスパ福岡



— アビスパ福岡 — 全体平均

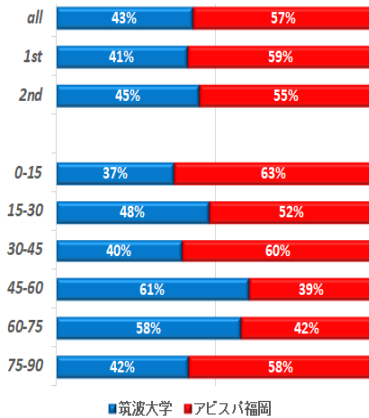
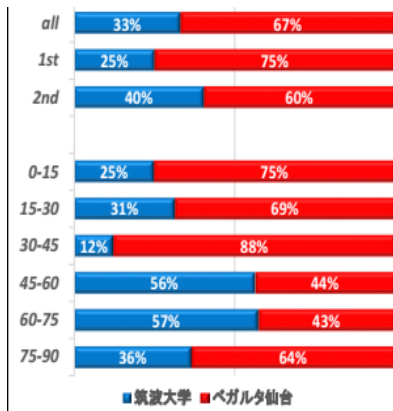
MEMO

①クロス成功率

	平均	筑波	クロス右成功数	クロス左成功数
アビスパ福岡戦	筑波	2回	2回	2回

アビスパ戦におけるクロス成功率は**36%**で今シーズントップの値。
また、クロス成功の全てがただ触っただけでなく、シュートに結びついている。(2番目は慶應戦の7/20回の35%)
クロスからの得点は東国戦以来。(5試合ぶり)

②ポゼッション率からみる試合展開(ベガルタ仙台&アビスパ福岡を比較して)



- ←立ち上がりは相手の攻撃を受ける
- ←相手の戦い方に慣れ、ボール保持し始める
- ←再び相手にボールを保持されるが、守備で崩れず、相手の攻撃を受け止める
- ←後半0~30分で相手よりボールを保持しこの時間帯で得点し、リードする
- ←最後は相手に押し込まれる展開。

改善ポイント

J1とJ2の Kategorii の違いはあるものの、アビスパ戦のほうが仙台戦と比べて、ポゼッション率を高めることができた。
また、この2試合のポゼッション率の推移は多少誤差はあるものの、**非常に類似している**と見える。
前半は相手にボールを保持される時間が長くなるが、その時間帯を耐え抜き、後半の開始から30分までは相手より、ボールを保持できている時間が長くなる。75分以降は2試合ともリードしているので、再び相手にボールを保持され守り切るといった展開がこの2試合で見られた。

最後の15分でも自分たちがボールを保持している時間を長くし、相手にチャンスを作らせないような展開を目指していけば、さらに勝つ確率が高まるのではないかと。